

スーパーマーケット編 [22分]

■防火管理者と消防計画

- ・100人近い従業員の先頭に立つ防火管理者の大川さん。
- ・大川さんが作成した消防計画。防火対策と震災対策、自衛消防組織の活動とは…

■防火管理者の日常の仕事

- ・出火の防止。スーパーマーケットの火災原因で多いのが放火。そのための防火対策。(量販店の火災実験で炎が広がる様子を検証。)

■消防用設備等の点検及び整備

- ・消防用設備等を整備し点検することは、防火管理者の大きな仕事の一つ。
- ・消火設備がすぐに使えるよう、屋内消火栓、消火器の使い方の訓練も実施。避難通路の状態も必ず点検。

■総合消防訓練

- ・火災が発生したら、自衛消防組織を中心に初期消火班、避難誘導班などはどのような行動をとらなければならないか、その一連の流れを検証する。

協力 株式会社フタバヤ長浜店/湖北地域消防本部長浜消防署

ホテル編 [22分]

■防火管理者と消防計画

- ・防火管理者の草野さんは、15人のスタッフの先頭に立ち、防火・震災対策に取り組んでいる。
- ・宿泊施設での消防計画作成のポイントは、お客様を安全に避難させること。そのため防火管理者は、従業員1人1人に自衛消防隊の任務を認識させている。

■防火管理者の日常の仕事

- ・草野さんは毎日3回、各階の廊下周り、非常口などを見回り、火の元をチェック。

- ・客室では、清掃員と防火管理者とがダブルチェック。

■消防用設備等の点検及び整備

- ・出火に備えて消火設備・警報設備・避難設備・スプリンクラーの設備の点検。スプリンクラーの効果実験で必要性を検証する。
- ・消防用設備点検資格者などによる点検も実施。

■総合消防訓練

- ・夜間を想定し、スタッフ4名のとき、客室で出火した場合、それぞれがどう役割分担していくかを捉えていく。

協力 東急ステイ四谷/東京消防庁四谷消防署

福祉施設編 [24分]

■防火管理者と消防計画

- ・要介護の高齢者50名をかかえる特別養護老人ホーム。
- ・高齢者福祉施設では、夜間、特に当直のスタッフが少ないので、近隣の方などにも助けをもらう共助の体制を確立しておく。

■防火管理者の日常の仕事

- ・各部屋を見回り、火災の危険があるものを部屋に持ち込んでいないかのチェック。電気器具の点検も怠らない。トラッキング現象の発火実験で原因を検証する。

■消防用設備等の点検及び整備

- ・収容人員10人以上の社会福祉施設では消火器、自動火災報知設備、火災通報装置の設置、延べ面積275㎡以上の施設では、スプリンクラー設備も義務付けられている。その必要性を実験でも検証。

■総合消防訓練

- ・この施設では消防訓練を月1回実施。この日は、大地震が起り、休憩室で出火したことを想定し、自衛消防組織の動きを捉えていく。

協力 特別養護老人ホーム ロング・ライフ/福島南消防署

監修 東京理科大学大学院
国際火災科学研究科 教授
前日本火災学会 会長 工学博士 関澤 愛

企画・制作統括 高木裕己 脚本・演出 川崎けい子
撮影 中村賢二郎/高橋哲也/天野健一
ナレーター 保谷果菜子/岐部公好
イラスト 正者章子 コーディネーター 斎藤晃顕

制作・著作 株式会社映学社

■VHS・DVD[カラー]

・ライブラリー価格 各巻 ¥68,250 (税込)

・2011年・映学社作品

●お問い合わせ、お買い上げは……

 株式会社映学社
EIGAKUSYA CO.,LTD.

〒160-0022 東京都新宿区新宿5丁目7番8号らんさん5ビル
TEL: 03-3359-9729 (代表) FAX: 03-3359-4024
<http://www.eigakusya.co.jp/>